

Webアンケートに ご協力ください。



当事者

の方の回答先



<https://forms.gle/MnXBtd9WtXd32iEt7>

外出支援専門員

の方の回答先



<https://forms.gle/4tZoeNf8mMxfGvbb9>

回答の締切は **2022年6月15日** です。

全国統一バリアフリー基準策定プロジェクトは、一般社団法人バリアフリー総合研究所、日本福祉大学、金城学院大学、阿部建設(株)により構成されています。

Web調査担当

金城学院大学 生活環境学部 環境デザイン学科 加藤悠介研究室
問い合わせ先: ykato@kinjo-u.ac.jp

この調査で得られた宿泊施設の事例は、金城学院大学の2022年度の卒業論文としてその特徴を分析します。ご回答いただいた方には卒業論文データをお送りする予定です。

調査目的の詳細につきましては、裏面をご確認ください。➡

身体障がいを持つ当事者やその支援者からみた評価の高い 宿泊施設に関するアンケート調査へのご協力をお願い

私たち全国統一バリアフリー基準策定プロジェクトでは、宿泊施設についてバリアフリー基準を策定し、それにもとづいて評価した施設データベースの作成を目指して調査研究を行っています。データベース作成にあたっては、障がいを持つ当事者や支援者が自分で情報を収集し判断できることが重要であると考えています。バリアフリー法の制度や各種ガイドラインで定められている規定は、いわゆる専門家の目線から評価されたものであり、利用者の体験価値なども含めたニーズが反映されているものではないと捉えています。そのため、利用者がほしい情報と、ガイドラインなどをもとに宿泊施設が提供している情報には齟齬が生じており、それが、利用者が宿泊施設を選定することを難しくしている大きな要因の一つではないかと考えています。

このプロジェクトの目標はデータベースの作成ですが、そもそも利用者が宿泊施設に対し、どのようなことを望んでいるのかについて明らかになっていません。そこで、身体障がいを持つ当事者と支援者を対象として、評価の高い宿泊施設を把握するためのWebアンケート調査を実施することとしました。どのような利用者が、どのような視点(どのような体験)にもとづいて宿泊施設を評価しているのかを整理することで、データベース作成の基礎的知見にしたいと考えています。

今回の調査結果をもとに、金城学院大学の2022年度の卒業論文として、評価の高い宿泊施設の特徴を整理、分析する予定です。さらに、この調査で得られた評価の高い宿泊施設については現地調査も行い、先駆的な事例集としてまとめることも検討しています。この成果をバリアフリー環境の整備が遅れている、あるいは躊躇している宿泊施設とも共有することで、利用者が求める宿泊施設が増えることにつなげていく計画です。

調査内容を下記に示します。調査の目的をご理解いただき、何とぞご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

記

調査対象

- ①身体障がいを持つ当事者で宿泊施設を利用したことがある人
- ②旅行に同行し支援する外出支援専門員

調査方法

Web によるアンケート調査

調査時期

2022年5月～6月

調査主体

全国統一バリアフリー基準策定プロジェクト

一般社団法人 バリアフリー総合研究所、日本福祉大学、金城学院大学、阿部建設(株)

Web調査担当

金城学院大学 生活環境学部 環境デザイン学科 加藤悠介研究室
問い合わせ先: ykato@kinjo-u.ac.jp